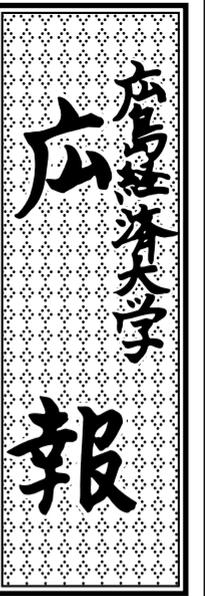


スポーツの魅力 広く発信



発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号 (082) 871-1000(代)
ホームページ http://www.hue.ac.jp/

- 1面 第一回国際スポーツサロン開催
- 2面 平成24年度 主な奨励プロジェクトの活動紹介
- 3面 インタビュー/体談/随想
- 4面 メディアビジネス/学科/テレビ番組制作体験/経大祭
- 5面 3年生の就職活動本格始動/ゼミナール雑感
- 6面 平成25年度推薦入試結果報告/学生募集要項

第一回「国際スポーツサロン」を開催

ガブリエル陸連総長が講演

国際的に活躍するスポーツ関係者を広島に招聘し、スポーツをテーマに講演する「国際スポーツサロン」。本学スポーツ経営学科の学術的向上や、広島におけるスポーツ文化の発展に寄与することを目的に、学生や地域の方々へ広くスポーツの魅力を伝えていく。第一回は、FIFAワールドカップやオリンピックなどの開催に深く貢献してきたエッサー・ガブリエル氏（フランス 45才）が、オリンピックムーブメント、ユースオリンピックなどについて語った。

「世界の潮流」熱心に耳傾け

平成24年12月7日、広島

国際会議場国際会議ホールにおいて、第一回「国際スポーツサロン」を開催した。国際的に活躍している方々や学生など多くの方々が会場に足を運んだ。第一回は、国際陸上競技連盟事務総長のエッサー・ガブリエル氏を迎え、「世界の潮流」の潮流」を演題とした講演が行われた。



熱く講演を行うガブリエル氏

エッサー・ガブリエル氏は、1998（平成10）年FIFAワールドカップ、フランス大会で国際メディアセンター所長を務め、2000（平成12）年夏季オリンピック・シドニー大会においても大きな役割を果たした。また、2003（平成15）年世界陸上・パリ大会のCEO、2010（平成22）年ユースオリンピック・シンガポール大会のプロデュー

サーなどとして活躍し、現在は国際陸上競技連盟事務総長として尽力している。スポーツを通じて世界中で活躍するエッサー・ガブリエル氏は、スポーツについて、また、ユースオリンピックなどについて熱く語り、来場者は熱心に耳を傾けた。

海外経験通し 学生に刺激を

ワールドカップ、オリンピックに象徴されるようにスポーツの果たす役割は年々大きくなっている。本学でも平成23年4月にスポーツ経営学科を開設し、スポーツをビジネスとして戦略的に運営できる人材の育成に取り組んでいる。教員陣には「リーグクラブの社長経験者や元スポーツジャーナリストなど、スポーツビジネス分野の実務に実績のある人材が揃っており、豊富な経験のなかで国際的に活躍するスポーツ関係者との親交を持つ教員も多い。「国際スポーツサロン」はそうした繋がりを活かし、スポーツとスポーツビジネスへの理解を深める機会を提供する。

この取り組みは、山口大学、香川大学、愛媛大学（代表校）、佐賀大学、京都外国語大学、京都文教大学、松山大学、九州国際大学、京都外国語短期大学および本学により、「異文化交流型リーダーシップ・ネットワーク」を形成し、全国展開に向けて西日本での連携と発展を図ることとしている。

これにより、学生が立派な「世代・文化の異なりを超えた」学内・国内・2国間・多国間の段階的「異文化交流」により、地域や国際社会で活躍するために求められるリーダーシップを体系的・継続的に養うことや持続的発展を支える教

60人の巣立ち祝う 第17回前期学位記授与式



前川学長より学位記を授与される卒業生

去る9月27日、第17回前期学位記授与式が、本学大会議室において厳粛に執り行われた。晴れて卒業の日を迎えたのは経済学部生60名（経済学科20名、経営学科19名、国際地域経済学科4名、ビジネス情報学科13名、メディアビジネス学科4名）で、教職員と保護者が見守る中、一人ひとり学長から学位記が手渡された。式辞に立った前川功一学長は「卒業される皆さん、おめでとうございませ。皆さんはこれからそれぞれの道を歩まれるわけですが、いづれの道に進もうとも、動人精神を発揮され、日本を再び元氣のある国に復興させてくれることを期待します」と激励した。卒業生たちは新たな門出の祝福を受け、式は緊張の中にも和やかな雰囲気の中に終了した。

異文化交流リーダー育成 24年度連携事業採択

本学ほか8大学、1短期大学で連携して取り組む「西日本から世界に羽たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム」が、文部科学省の「大学間連携事業共同教育推進事業」として採択された。

この取り組みは、山口大学、香川大学、愛媛大学（代表校）、佐賀大学、京都外国語大学、京都文教大学、松山大学、九州国際大学、京都外国語短期大学および本学により、「異文化交流型リーダーシップ・ネットワーク」を形成し、全国展開に向けて西日本での連携と発展を図ることとしている。

今後の積極的な活動を期待する。

国際スポーツサロンを開催するきっかけは、スポーツ経営学科の濱口博行教授がつくった。濱口教授は、本学教授に就任するまで広告代理店電通で1982（昭和57）年から海外でのスポーツビジネスに携わり、2002（平成14）年FIFAワールドカップ日本招致活動および運営作業や東アジアサッカー連盟の設立なども手がけてきた。

「スポーツビジネスを通じて出会ってきた世界中の友人たちとのネットワークを活かして学生に刺激を与えたい」と、広島の国際化に貢献できないかと考えていた。そうした構想にかなってからの協力を仰ぎたいと思っていたのがエッサー・ガブリエル氏です。

日本のスポーツビジネスは、これからさらに世界規模へと拡大していくかなければなりません。スポーツビジネスの世界に踏み込んでいく若者たちには、世界を舞台に活躍するスポーツ選手やスポーツ関係者の話を聞いて刺激を受け、国際感覚を養ってほしいと思っています」と濱口教授は語っています。

この度、本学において、広島経済大学名誉博士称号贈呈規定を設け、「名誉博士」第一号として本学園理士の篠原康次郎氏に、第二号として国際陸上競技連盟事務総長エッサー・ガブリエル氏に贈呈した。この「名誉博士」の称号は、本学における教育研究の発展に顕著な功績があった者、もしくは学術文化の発展に社会貢献に顕著な功績があり、本学において顕彰することが適当と認められる者に贈呈するものである。篠原康次郎氏は地域社会と広島経済大学の発展に対する功績に対して、エッサー・ガブリエル氏には、スポーツ界における国際的な功績に対して贈呈することとなった。

贈呈式は11月8日に本学において篠原康次郎氏に、12月7日に国際会議場においてエッサー・ガブリエル氏に対して、各関係者が見守るなか、厳かに行われた。が貢献できる日は近いかもしれない。

広島独自の 貢献に期待も

「広島だからこそ伝えられる、スポーツを通じた平和のメッセージがあると思っています」と濱口教授は続けた。広島はプロスポーツチームや多くのスポーツ関連企業の活動拠点にもなっている。また、原爆ドームなどには海外から訪れる観光客も多い。「スポーツ」をキーワードに世界各国の人々が集い、交流を深めていく場として広島



篠原康次郎氏



エッサー・ガブリエル氏

中高生の夢・笑顔実現!!プロジェクト



教育フォーラムの様子

不登校生の学校復帰をテーマとした教育フォーラム開催

平成 24 年度教育フォーラム「学校復帰への『みちしるべ』」を、財団法人こども教育支援財団、クラーク記念国際高等学校と共催。不登校を克服した高校生へのインタビューなどを実施し、参加者からは「高校生の体験談を聞いて希望を感じた」との感想が寄せられた。

プロスポーツによる地域活性化プロジェクト・広げよう!!平和折り鶴プロジェクト・カフェ運営プロジェクト



子どもたちと選手に渡す折り鶴のプレスレットを作るメンバーたち

FIFA U-20女子ワールドカップジャパン2012レガシープログラムイベントを実施

広島ビッグアーチで開催された「FIFA U-20 女子ワールドカップジャパン2012」と並行して、サッカー文化の発展・普及を目指す「レガシープログラム」が実施された。本学からは「プロスポーツによる地域活性化プロジェクト」「広げよう!!平和折り鶴プロジェクト」「カフェ運営プロジェクト」がイベントに携わり、折り鶴での交流企画やミニカフェ運営、雑貨販売などで会場を盛り上げた。

食生活支援プロジェクト



新鮮な野菜を販売するメンバーたち

本学学生の食生活をサポートする「HUE野菜市」を開催

6月、7月の19日に本学第一食堂で「HUE 野菜市」を開催した。地元農家の協力のもと、新鮮な旬の野菜を一人暮らしの学生対象に格安で販売。学生に地産地消に目を向けてもらうことを目指した。次回は平成 25 年 1 月 15 日に開催する予定だ。

太田川キレイキレイプロジェクト



元安川近隣でゴミを集めるメンバーたち

県内の学生と協同し、太田川水系の元安川一斉清掃を実施

広島平和記念公園において広島県内の大学生たちと協同して元安川一斉清掃を行った。太田川水系である元安川でゴミ問題の現状を把握し、環境美化の啓発活動を展開。多くの人に太田川への関心や愛着を抱いてもらうことを目指した。

ぶらり安佐南プロジェクト



可部線沿線で取材をするメンバー

産官学が連携して JR可部線の唱歌を動画化

本プロジェクトと広島文化学園大学の学生が協力し、JR 可部線沿線をテーマに「鉄道唱歌可部線編」の動画を制作。廃線となった可部一三段峡間を含む沿線の風景を撮影・編集を本学が担当し、その音楽を広島文化学園大学の学生が担当。約 20 分の作品が完成した。

若旅促進プロジェクト



実際に「キャニオリング」を体験するメンバー

JR西日本と他大学との観光イベント「鹿児島カレッジ」に参加

広島経済大学、関西大学、大阪大学、神戸大学、神戸松陰大学、岡山大学の学生約 50 名が鹿児島市と県内 6 地区で若者をターゲットにした観光ツアーの開発に取り組む「鹿児島カレッジ」に参加した。この企画は JR 西日本と鹿児島県が共催しているもので、本学からは 8 名が参加。鹿屋市、垂水市の観光スポットを巡って得た情報をもとに若者視点の観光ツアーを企画した。

東北支援プロジェクト



保育園でレクリエーションをするメンバー

東日本大震災の被災地3カ所でさまざまな支援活動を実施

「震災に遭われた方を『笑顔』にする」「震災の記憶を忘れない」「『生命』を見つめる」をスローガンに、岩手県、宮城県気仙沼大島、福島県いわき市で活動。保育園や老人ホームでの体操などのレクリエーションや、漁業関係では漁で使用する網の修復などを手伝い、被災者から震災体験を聞くなどさまざまな支援活動を行った。

写真で見る興動館プロジェクト 平成24年度の主な活動記録

学生が実践を通して人間力を磨く「興動館プロジェクト」。現在 16 のプロジェクトが国内・海外で国際交流・社会貢献・地域活性・経済活動などをテーマに多様な活動に取り組んでいる。ここでは、その活動の一部を写真とともに紹介する。(順不同)

カンボジア国際交流プロジェクト



副読本の説明をするメンバーたち

本学初の公認プロジェクトAに昇格、現地活動を実施

学生たちが3年間かけて広島の戦後復興のプロセスについてクメール語でまとめた副読本をカンボジア全土に普及させるため、毎年カンボジアの教育機関や孤児院などを訪問し、副読本を活用したクイズ形式の授業を行っている。これまで 1000 冊以上配付した。こうした活動が認められ、大学初の「公認プロジェクトA」に昇格。今後は現地の大学生と英語版の副読本作成にも取り組む予定だ。

インドネシア国際貢献プロジェクト



商品になりそうな布を選ぶメンバーたち

現地の火山噴火被災で支援活動

現在、インドネシアで災害復興を支援する活動を行っているプロジェクト。今年度も 25 名の学生がインドネシアのジョグジャカルタを訪問した。2010 (平成 22) 年 10 月のムラピ山噴火で被災した子どもたちを対象に、運動会や絵画教室を開催。また、現地で買い付けた布や革でできた商品を日本国内のイベントなどで販売し、利益を被災者に還元する予定だ。

中国植林プロジェクト



新たに植林する土地をならすメンバーたち

「広島経済大学の森」において 400本を植林

5 年前から植林活動に取り組んでいる本プロジェクト。今年も 6 名の学生が中国内モンゴル自治区のカンチカにある「広島経済大学の森」を訪れた。現地の村民とともに 400 本のマツやニレの苗木を植え、これまでに 700 本以上植林した木の成長率なども調査。今後も村民との連携を深め、森づくりに努めていく。

子ども達を守ろうプロジェクト



夏休みの宿題である工作課題を子どもたちと一緒に作るメンバーたち

夏休みの宿題 お手伝いイベント開催

地元小学生の夏休みの宿題を手伝うイベント「Stanza Chiara ～スタンザ キアラ～」を興動館で開催した。「Stanza Chiara」はイタリア語で「明るい大部屋」という意味で、宿題や工作課題を通じて小学生と大学生が気軽に声をかけ合える関係の構築を目指した。

武田山まちづくりプロジェクト



竹を集め秘密基地づくりをする子どもたちとメンバー

森林を「武田の里」として開拓し、地域交流の場に

本学西側に位置する森林を「武田の里」として開拓した。原生植生を保全し、地域の憩いの場として再生を目指す。今後は全国から大学生を集めて森林ボランティア活動を行うほか、地域の子どものための工作教室や秘密基地づくりなどのイベント開催も予定している。

カフェ運営プロジェクト



サミットで地域との連携事例を報告するメンバーたち

全国学生カフェサミットに参加

学生だけでカフェを運営し、経営のマネジメントを学ぶカフェ運営プロジェクトが、名古屋学院大学において開催された全国学生カフェサミットに参加し、地域との連携事例を報告した。全国から集ったカフェを運営する学生団体とトークセッションなどで交流を深め、情報や技術を共有した。

希望や自信 自分磨き インターンシップ報告

企業や公共機関などで就業体験に取り組みインターンシッププログラム。将来を見据えて自分を磨こうと、今年も多くの学生が参加した。各支援企業の絶大な協力のもと、充実したインターンシップを体験した3名の学生による体験報告を紹介する。

海外インターンシップ

研修先／米国人日本旅行
ハワイ



経営学科3年 新本 祥子さん
広島県／高陽高校出身

海外で学んだ おもてなしの心



米国人日本旅行ハワイにて研修に励む新本さん

昨年、株式会社日本旅行広島支店で主に事務業務の業務を経験しました。大学では国際交流サークルに所属しており、海外に行ってみたという気持ちも強かったため、今年は海外インターンシップに参加することにしました。

ハワイでの研修は接客業務を中心として、米国人日本旅行ハワイが期間限定で開催するカフェでの運営実習、オプショナルツアーの申し込みの受け、そしてハワイでの研修は接客業務を中心として、米国人日本旅行ハワイが期間限定で開催するカフェでの運営実習、オプショナルツアーの申し込みの受け、そして

「お客様と接するなかで、常にお客様の視点に立ち、今、自分にできる精一杯のサービスは何か」を考へて働くことの大切さを学ぶことができました。

また、社員の方々は、仕事のノウハウだけでなく、海外で働く道を選んだ理由や仕事のやりがいなどについても話を伺うことができ、自分の将来を考へるヒントになりました。

研修を終えて、私の一番の課題は英語力だと痛感し、卒業までに「語学留学をする」という新たな目標ができました。今まで以上に、留学生と積極的に交流して英語力を磨いていきたいと思っています。

研修先／ミズノ株式会社
広島営業所



経営学科2年 花岡 寛斗さん
広島県／大門高校出身

スポーツビジネス演習Ⅱ

研修先／ミズノ株式会社
広島営業所

「スポーツビジネス演習Ⅱ」の授業は英語力だと痛感し、卒業までに「語学留学をする」という新たな目標ができました。今まで以上に、留学生と積極的に交流して英語力を磨いていきたいと思っています。

研修先／清水建設株式会社
広島支店



経営学科2年 六鹿 志保さん
広島県／呉三津田高校出身

社会で求められる力を磨いた

社会人としてのマナーと社会に出て働くための心構えとは何か？自分にとって鍛えておくべき力は何か？インターンシップは、私の知らないことを体験的に学べるチャンスだと思ひ、参加しまし

た。建設会社でのインターンシップを選んだのは、人間の生活に欠かせない「衣」「食」「住」の中でも建築やインテリアなど「住」の分野に興味があったからでした。

研修では、受付業務や書類作成、関連会社を訪問する営業などを経験したほか、土地の有効利用をテーマとしたプレゼンテーションにも取り組みました。この研修を通じて学んだことはたくさんありますが、特に印象に残っているのは、

「お客様が求めているものをしっかりと把握し、問題点を見つけてその解決策を素早く提案していく力が仕事ではとても重要だ」ということです。

また、仕事の質を高めるためには、お客様と一緒に仕事を進めていく仲間と信頼関係を築いていくコミュニケーション能力が不可欠だということも学びました。

授業で資料をまとめることや、プレゼンテーションで自分の考えを伝えること、周囲の人とのコミュニケーションシミュレーションなど、今までは自分でできていたと思っていたことが、ビジネスではそう簡単には通用しないことを経験から学び、自分の甘さを自覚することができました。自分自身を客観的に見つめなおすことで、自分に足りないものに気づくことができたのは、今回の研修に参加した大きな収穫



ミズノ株式会社に事務業務の研修中の花岡さん(左)

10年ほど前まで私は瀬戸内の製塩業史を研究していた。歴史的に申しますと、日本の塩作りは、17世紀以前は「揚げ浜塩田」といって、海岸より少し高い台地に砂地を設定して、そこまで海水を運び、それを砂地に撒いて、乾燥させて塩を作っていた。これは、海水を運ぶ労働力が大変だったため、この労働力をいかに少なくするかが課題であった。17世紀になって、潮の干満を利用して海水を運ぶ労働力を減らすようになった。この時は、土手を作る技術

随想

道まで運ばれるようになって、帰りの船で昆布や肥料用の鰯粕を運んだのである。この生産と流通の変化は、歴史的ダイナミズムとして興味を持てるものであった。

たそがれ時におもう



相良 英輔

たそがれ時、山陰の大学に赴任したこともあり、研究テーマをガラッと変え、山陰で盛んであったたたら製鉄業について研究することにした。鉄鉱石のさほどない日本では、砂鉄から鉄を作っていた。島根・広島の間は

大量生産が可能になり、雨の少ない瀬戸内は、塩の特産地になり、それまで全国各地で作っていた塩は、瀬戸内の塩によって駆逐されていった。17世紀もなかほどになると、瀬戸内の塩は下関海峡を通過して、北海

砂鉄を多く含んでいたため、日本最大の鉄の産地であった。私は積極的に研究テーマを変更したというよりも、たたら史料を所蔵する家の古文書を整理し、「報告書」を出すことを依頼されたことを契機として、研究テーマを「たたら」に変えたのである。

島根は三大旧家と言われる糸原家、櫻井家、田部家がとに有名である。文化庁と島根県、さらに市や町はこの三家の史料目録調査をすることになり、私は幸

のために、「何事もまず行動に移してみよう」と物事に前向きに取り組んでいくようになりました。このように気持ちになれたのも、インターンシップを通じて、経験を積むことが自分の成長に繋がるということを実感できたからです。

中退予防成果など報告

秋季保護者役員会



清水建設株式会社の企業研修でプレゼンをする六鹿さん

平成24年度保護者会秋季役員会が、去る10月19日、川村慎二保護者会長をはじめ61名の出席のもと、広島ガーデンパレス（広島市東区光町）で開催された。この役員会には、保護者会規約第11条により、保護者会総会に代わる会となるものとして、役員会では、川村保護者会長、前川功一学長（名誉会長）の挨拶に続き、学事報告があった。

次に、木村学務センター部長から退学・除籍者および休学者数の傾向とフォローについて報告があり、続いて、村山教育・学習支援センター部長から、初年次教育、夢チャレンジプロジェクト、中退予防への取り組みについて報告があった。特に、中退予防については、教育・学習支援センター、学務センター教務課、ゼミ担当教員が連携して欠席者などの確認、連絡、面接などにあたっており、23名の復帰に繋がっているとの報告があった。

梶山キャリアセンター次長からは、9月末時点での内定状況（64・5％）昨年

比+4.1）、平成24年度進路・就職支援プログラムの実施状況について報告があった。その他、高田入試広報室長からはオープンキャンパスの参加状況やAO入試結果などについて、中村興動館副館長からは興動館プロジェクトの活動状況について報告があった。

最後に、松井事務局長から大学創立50周年へ向けた事業基金特別会計の設置と一般会計からの繰入について、又、学校法人に対する寄附に係る税の優遇措置について説明があった。

被爆ピアノ、東北復興願う

学内カフェでチャリティーコンサート

去る9月16日、興動館H U E Cafe「Time」において、長谷川ゼミの学生9名と「カフェ運営プロジェクト」の学生3名、「広爆ピアノ」の演奏を受けた「被爆ピアノ」の演奏を通じて



被爆ピアノで連弾演奏する親子

て、平和の大切さについて考えるきっかけの提供。もう一つは、被爆ピアノを修復して、全国での演奏活動や東北での被災地支援などに取り組む広島市安佐南区在住のピアノ調律師・矢川光則さんの活動を、募金活動を通して支援することで

ある。「昨年、被災地ボランティアで東北を訪れ、広島に戻ってきてからも何かできることはないかとずっと考えていました。そんな時、矢川さんが東北支援を行っていることを聞き、チャリティーコンサートを開催しようと思いました」と語ったのは、イベントを企画した山田広輝さん（メディアビジネス学科3年・広島県／呉商業高校出身）。コンサート当日は、安佐南区のピアノ教室の生徒や

「繋がり」最高 第45回経大祭

11月3日・4日の両日、第45回経大祭が開催された。今回のテーマは「PUZZLE」。このテーマは、「大学祭に関わる全ての方々をパズルのピースに例え、皆さま方との繋がりを表現し、大きな絵を皆さまと一緒に完成させたい」という思いが込められている。



ステージの様子

天候に恵まれた2日間は両日も学生たちが催したステージや文化展など始終盛り上がりを見せ、中には行列ができるほどの模擬店もあった。特に、ステージでは、人気ミュージックバンドや芸人によるライブの効果もあり、今までにない来場者数を記録した。

TV局とバラエティ制作

8人、演出や編集苦心も

広島ホームテレビが開催した「学生向けオープンスクール」に本学の1年生と3年生ら8名が参加した。本学の他に福山大学、安田女子大学、広島国際大学から合わせて計26名の学生がバラエティ番組の制作に取り組んだ。放送局と大学生と一緒に番組制作を体験することで、メディア特性

を理解し豊かに表現する力（メディアリテラシー）を互いに高めることが大きな目的だ。放送局での講義は10月6日、13日、20日、27日の合計4回あり、学生たちはバラエティ番組の作り方や演出技法を学びながら撮影や編集に取り組んだ。本学の学生は2つのグループに分



バラエティ番組の内容を提案している学生たち

れて番組制作し、1年生は「ゲテモノを食べてみよう」、3年生は「大学教授と学生がジャンケン対決し、敗者が食事をごちそうする」という企画で撮影に臨んだ。しかし、実際の撮影ではイメージしていた映像が撮れなかったり、予定していた食材を用意できずに企画を変更したりと苦戦の連続。「撮影や編集はスムーズにいかないことばかりでした。撮影した映像も人によって面白いと思うポ

企画盛況にぎわう 第7回祇園・興動祭



祇園町商工会との合同開会式で挨拶をする実行委員長の松尾大さん

10月28日、興動館において「第7回祇園・興動祭」が開催された。実施当日は晴天に恵まれ、地域住民の方々や学生など約4千名にご来場いただいた。また、今年も昨年同様

CIRCLE・INFO!

個性豊かな作品をつくろう!

漫画研究部

漫画研究部では、漫画をはじめとするサブカルチャーへの理解を深めることを目指し、さまざまな活動に取り組んでいます。毎年春と冬には作品展示会を開催。また、大学祭では作品展示のほか、部員全員で部誌を作り、配布しています。今年の6月からは、漫画研究部の有志メンバーが安田女子大学や広島修道大学の学生たちとプロジェクトを立ち上げ、安佐南区をピーアールするイメージキャラクターの制作に取り組むなど、他大学との交流も積極的に行っています。

現在は1年生が10名入部し、2年生2名、3年生9名、4年生6名の合計27名で活動しています。漫画研究部が大切にしているのは、部員同士が何でも意見を言い合える環境です。先輩、後輩の垣根を越えて自由な発想で意見を交わしていくことが、魅力ある作品づくりにつながっていると考えています。皆さんも、個性豊かな仲間たちとともに発想力や表現力を磨いていきましょう。漫画を描くのが好きな方、絵を描くのは苦手だけれど見るのが好きという方、ぜひ一度遊びに来てください。

活動日・時間/月～金(9:00～20:00頃)・土(ときどき活動あり)
場所/第1クラブハウス2階
活動内容/学内展示(春)、大学祭での展示、部誌の配布、合同発表会展示(冬)、他大学と連携したキャラクターの制作

世界に一つ自前絵本「おび」

小学生対象ワークショップ開催

広島県立美術館特別展「おびでよ! 絵本ミュージアム2012」の関連イベントとして、本学の学生が企画したワークショップ「絵本の「おび」をデザインしよう!」が開催された。この「おび」づくりは、本学の講義「メディアビジネス特講・メディアリテラシー」で井上洋平さ

30秒の番組が完成した。伊藤さんが「実践のなかで伝える面白さと難しさを学びました。演出と編集のアイデアを活かして今後の学びをさらに深めたいです」と語った。学生たちの今後の活動に期待したい。



「おび」の作り方を指導する学生

- 空手道部
- ▽第56回全日本大学空手道選手権大会出場
- サッカー部
- ▽第67回国民体育大会サッカー競技出場「甲田隼大(広島県成年選抜)
- 陸上競技部
- ▽天皇賜盃第81回日本学生陸上競技対校選手権大会出場「女子1000」松尾紗也可「女子2000」尾原菜月「女子4000」才野直美「女子4×100」リリー「安佑希恵・才野直美・松尾紗也可・尾原菜月」女子4×4000「リリー」松尾紗也可・才野直美・尾原菜月・林舞美▽第67回国民体育大会陸上競技出場「女子1000」松尾紗也可
- ▽第28回日本ジュニア陸上競技選手権大会出場「女子円盤投」白井絵梨 39歳
- 卓球部
- ▽第79回全日本大学総合卓球選手権大会出場「シンダルス」岡本義崇

いざ就活 3年次生に勇気を

充実の就職ガイダンスを開催

4年生の就活体験談で一年後をイメージ



就職内定者によるガイダンスの様子

見えてきたこと、就職活動で苦労したことやそれをどのように乗り越えたかなどを語った。

なかでも「自分が思う、内定を獲得した勝因」については、さまざまな困難を乗り越えてきた内定者だけにメンタル面でのアドバイスが多く、3年次生を勇気づけるものだった。

「筆記試験や面接で不採用が続いた時はとても落ち込みました。悔しくて、エントリーしたことにすら「なかつたこと」にしたい」と思いました。しかし、私が今こうして内定をいただけたのは、その時に自分の弱さから逃げなかったからだと思えます。「逃げたい」と思った時こそ成長のチャンスだと思つて頑張つてくださった。就職活動の厳しさ

を力強く乗り越えてきた先輩の言葉に、多くの3年次生が頷いた。

「採用選考に関する企業の倫理憲章」の見直しにより、企業の新卒採用に関する広報活動の開始時期が従来の10月から12月へと変更になったのは、平成25年3月卒業生の就職活動からだ。この変化の一年を乗り切り、内定を獲得した4年次生の声が本学のキャリアセンターに多く寄せられている。内定を獲得した4年次生の体験談は後輩にとって貴重な情報源。そのため、キャリアセンターでは、内定者からの喜びの声だけでなく、就職活動での成功談や失敗談、実際の就職活動の進め方、面接で聞かれた質問項目など、就職活動に関連するさまざまな情報を「入社試験報告書」としてまとめている。入社試験報告書はキャリアセンターの就職関連資料のコーナー

先輩の体験を聞き心の準備を

第5回「就職ガイダンス」では、「4年生が語る、私の就職活動」と題し、内定を獲得した4年次生5名が各自の就職活動についての体験談を語った。今回参加した4年次生の内定先は、情報通信、農林水産関連業界、金融、アパレルなど幅広い。就職活動をいつから始めたのか、筆記試験対策や就職ガイダンスをどのように活用したのか、面接試験での失敗談や自己分析で

していただきたいと、3年次生を安心させてくれるようなアドバイスもあった。なかには、「面接試験はとても緊張しましたが、面接の前にはいつも家族や友達に電話して心を落ち着かせていました。緊張した時に『いつもの自分』を取り戻せるよう、自分なりのリラックス方法を持つておく」といった実際の面接直前の経験をもとにしたアドバイスもあり、就職活動の参考になる意見が多く聞かれた。

12月から本格的に始まった。本学では人事担当者から最新の選考スケジュールや選考内容などを詳しく聞くことができる「企業研究セミナー」を12月に全14回開催するほか、2月には本学の学生を採用したいという企業が本学のキャンパスで説明会を行う「学内合同企業説明会」を5回にわたって開催する。

9月の就職ガイダンスで4年次生の話を参考にしたばかりと準備を進めている学生は多いが、まだ準備ができていない学生には個別相談や学内で開催する各種セミナーへの参加を継続的に促していく。

キャリアセンターでは、内定者の体験談をまとめた冊子「私の就職活動」や、学生たちのエントリーシートの実例集、履歴書の書き方の詳しい解説書なども作成し、学生は自由に閲覧できる。個別相談や模擬面接なども設け、学生一人ひとりに合った就職支援を実施している。こうした学生の視

点に立った支援が高い内定率の維持にも繋がっている。

ではスポーツ経営学科教員と一期生・二期生の学生スタッフが実行委員会として務めた。

（経営学科3年）・水口直也（経済学科1年）
▽学部長表彰者
●日商簿記検定「2級」片平友美（国際地域経済学科4年）、中井健登（経済学科3年）、二宮夏樹（経営学科3年）、佐々木正法（経営学科3年）、立木千絵（経営学科3年）、藤井崇正（経営学科2年）、井口大資（スポーツ経営学科2年）
●日本語検定「2級」村田一貴（経済学科2年）
●ファイナンシャル・プランニング技能検定「2級」高橋勇次（経営学科3年）
●TOEIC「500点以上」胡セン（大学院後期課程）、藤田昇吾（経済学科2年）
●ITパスポート 松浦公輝（ビジネス情報学科2年）
●サービスマスター実務検定「準1級」深澤菜々実（経営学科3年）
「2級」平手里沙（経済学科4年）、戸

谷翔（経済学科3年）、黒田有貴（経済学科3年）、高橋勇次（経営学科3年）、新見瞬也（経営学科3年）、原早也香（経営学科3年）、山田真作夫（経済学科2年）、西山美優貴（経営学科2年）、矢口翔太（経営学科2年）、渡邊太貴（スポーツ経営学科2年）



生涯スポーツ学会「シンポジウム」の様子

「生涯スポーツ学会」132人集う

10月27、28日、本学において「日本生涯スポーツ学会第14回大会」が開催された。

大会には学会員はもとより、海外からの招聘講師をはじめ、全国から、また広島で生涯にわたる運動・スポーツの振興を理論と実践の両面にわたり研鑽・尽力されている方々が132名参加した。

当日は Prof. Mike Higgins 氏（英国・カンブリア大学名誉教授）による「英国のスポーツ政策とコミュニケーション・スポーツ」と題した基調講演をはじめ、2つのシンポジウムとワークショップ、また36題の研究発表が行われた。学会運営



学部長表彰者

私のゼミナール 雑感

66

広田 堅志

光陰矢のごとしと云われるが、本学の教員になって早くも7年になる。本学の学部、大学院で過ごした時間を足せば、通算19年となる歳月は一人の人生からすれば決して短いと言えないだろう。本学で過ごしてきたこれまでの人生を振り返ってみると、ゼミという存在はかなり甚大なものであった。

「知の創造、ゼミからゼミへ」



私は学部時から大学院までずっと同じゼミに所属していた。学生時代のゼミを通して学んだ研究・教育の手法、考え方は自分の人生観、価値観に大きな影響を与えている。少しくらい乱暴な言い方をすれば、勉強はどこでもできるが、精神的な影響を含む良質な研究と教育はどこでも受けられないというところだ。短気で、焦りがちな私は、ゼミの恩師に「研究は、どこからスタートしてもよいが、結局のところ、その分野全体に対する研究になる」と言われたことがある。大きな楡（かし）の木も小さなドングリからという意味で、しょるか。焦らず、慌てず、諦めず、な教育手法を実践し、物事の一部や細部に捉われず、全体を見失わずに俯瞰することの重要性を教

えていただいた。その中で私にとってもっとも高い学修効果をもたらした研究・教育手法とは、大量な学術文献資料の翻訳作業だ。一見遠回りするような学修方法と思われがちだが、実は翻訳という学修方法は、知識の伝承だけでなく、知識への探求心、専門知識の向上、人格の養成という3つを、ゼミ生が主体的に三位一体で学修を進めることができる。いま、ゼミを通して伝授されてきた研究・教育の手法、考え方は、またゼミを通してこれから学窓を巣立っていくゼミ生たちが自らそれを実践している。知の創造への取り組みは、ゼミからゼミへと引き継いでいく。

（准教授 経済入門、現代中国経済事情 ほか）

■大学院 博士課程前期課程

【一般選抜】

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 合格発表. Details for the general selection process for the first semester of the graduate program.

【社会人特別選抜】

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 合格発表. Details for the special selection process for social applicants.

【学内特別選抜】(学部との5年プログラム試験)

Table with columns: 募集人員, 出願資格, 出願期間, 試験科目, 提出書類, 選考方法, 合格発表. Details for the special selection process within the university.

■大学院 博士課程後期課程

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 合格発表. Details for the second semester of the graduate program.

■学部 資格スカラシップ推薦入学試験(2期)

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 選考方法, 合格発表. Details for the scholarship recommendation exam.

■学部 一般入学試験(1期)

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 合格発表. Details for the first semester general entrance exam.

※試験日自由選択制 2月6日・7日の試験日をどちらか、又は両日とも選択できます。...

■学部 一般入学試験(2期)

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 合格発表. Details for the second semester general entrance exam.

■学部 入試センター入学試験(1期・2期)

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 合格発表. Details for the center entrance exam.

出願資格等 平成25年度大学入試センター試験において2科目以上を受験した者。...

■学部 社会人入学試験(2期)

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 選考方法, 合格発表. Details for the second semester social entrance exam.

■学部 外国人留学生公募制推薦入学試験

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 選考方法, 合格発表. Details for the international student recommendation exam.

■学部 外国人留学生入学試験(国内志願者)(1期・2期)

Table with columns: 募集人員, 出願期間, 試験日, 試験科目, 選考方法, 合格発表. Details for the international student exam for domestic applicants.

平成二十五年 学生募集要項

学科及び大学院の募集要項を配付しています。お申込みは以下までハガキ電話メールなどで。

平成25年度推薦入試結果報告

平成25年度推薦、編入学試験を11月20日に実施した。また、9月にはAO入学試験を実施した。

Table showing AO entrance exam results: 入学試験 (AO), 募集人員 (20), 志願者数 (27), 受験者数 (27), 合格者数 (6), 競争率 (4.5).

平成25年度推薦入学試験結果

Table showing recommendation exam results for various departments like Sports, Economics, Business, etc.

平成25年度編入学入学試験結果

Table showing transfer exam results: 入学試験 (編入学), 募集人員 (若干名), 志願者数 (5), 受験者数 (5), 合格者数 (4), 競争率 (1.3).



評議員 石田いそ子

討報

BOOKS

- List of book reviews from the 'BOOKS' section, including titles like '経済学における保存則の新しい導出法' and authors like 三村 文武.

<お申込み・お問い合わせ先> (学部・大学院)入試広報室 082-871-1313 / Eメールent-sc@hue.ac.jp

広島経済大学 保護者向けメールマガジン (通称: HUE (ヒュー)メル) 好評配信中. Includes contact info and a 'メルマガ' button.

知の系譜 No.29. Book review for 'Livius, Titus. (59 ~ 17 B.C.) Historiae Romanae decades. Venice: Vindelinius de Spira, 1470. 417p. 41cm'.

春のオープンキャンパス 開催のお知らせ. 3月24日. Includes details about the event and a '無料送迎バス運行!' banner.

学生皆さんへ. 最新号の「論集」は、1号館玄関図書室・メディア情報センター等に置いてあります。